

参加形式：Zoomミーティングによるオンライン参

令和4年度 千葉県生活期リハビリテーション研修会

主催：千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議
 運営：千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会

「求められる訪問リハビリテーションとは ～自分たちに出来ることを考え・伝える～」

令和4年12月11日(日曜日)9:30～16:30

時刻	時間数	講義内容	説明	役割	所属	職種など	講師(敬称略)
9:15		受付開始(早めの入室をお願い致します。)					
9:30		開講式			千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会		
9:40	60	在宅で遭遇する急変時の対応	セラピストが知っておくべき医療対応	座長	研修会実行委員会		宮阪 美穂
				講師	千葉県医師会	医師	順次更新
10:40		質疑応答	講演を受けて現場で悩んでいることを相談				
休憩(10分)							
	30	訪問リハに求めること ～医師の立場から～	それぞれの職種の役割と連携について	座長	研修会実行委員会		宮阪 美穂
10:50				講師	千葉県医師会	医師	順次更新
11:20		休憩(5分)					
11:25	30	訪問リハに求めること ～訪問看護師の立場から～	それぞれの職種の役割と連携について	講師	千葉県訪問看護ステーション協会	看護師	順次更新
11:55					休憩(5分)		
12:00	30	訪問リハに求めること ～ケアマネの立場から～	それぞれの職種の役割と連携について	講師	千葉県介護支援専門員協議会	ケアマネジャー	順次更新
12:30					休憩(5分)		
昼休憩(60分)							
	60	求められるセラピストになるための「気づく力」を養うには(仮)	信頼されるセラピストになるには、徒手的な技術だけではなく、相手の想いに寄り添い、雰囲気を読み取り、適切に対応する能力が求められる。訪問セラピストとして必要な能力について考える。	座長	研修会実行委員会		鳥居 和雄
13:30				講師	一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会	宇田 薫	
14:30		休憩(10分)					
14:40	70	グループワーク(70分)	①訪問リハセラピストとしての役割とは何か～自分たちに出来ることとは何かを考える～ ②医師との連携を促進するには～自分たちに出来ることをどうやって伝えるか～	座長	研修会実行委員会		佐々木 啓人
15:50					参加者		
15:55	10	千葉県理学療法士会から総評	研修を通して参加者に伝えたいこと		千葉県理学療法士会	PT	田中 康之
16:05	10	千葉県作業療法士会から総評	研修を通して参加者に伝えたいこと		千葉県作業療法士会	OT	坂田 祥子
16:15	10	千葉県言語聴覚士会から総評	研修を通して参加者に伝えたいこと		千葉県言語聴覚士会	ST	宮阪 美穂
16:25	5	閉会					
16:30	5	アンケート					

※講師は変更となる場合がございます。